



ダン活登録アーティストになると…

- 全国の公共ホールと出会うチャンスがあります
- 多様なプログラムで活動の幅が広がります
- 出演料や派遣経費等は地域創造が負担します

こんなアーティストにおすすめです！

- 地域ならではのものや人と出会うことが好きな人
- ダンスにまだ出会っていない人へダンスの魅力を届けたい人
- 自分のフィールドを広げたい人

オンライン説明会

2024年1月5日（金）10:30～12:00

募集詳細ページ（下記QRコード）の予約フォームより
1月3日（水）までにお申し込みください。

2025・2026年度 公共ホール現代ダンス活性化事業

登録アーティスト 募集概要



公共ホール現代ダンス活性化事業を実施するため、
公共ホールとともに事業を行うコンテンポラリーダ
ンスのアーティストを募集します。

応募
締切

2024年1月24日（水）

※当日消印有効
※募集要項や応募フォームは、QRコードより地域創造ホームページ内
詳細ページをご確認ください。

応募条件（以下の条件を満たす方）

- ◆ コンテンポラリーダンスのアーティストとして活動し、自身が振付し出演する作品を発表した経験がある
- ◆ ソロまたはデュオで活動ができる ◆ 幅広い層を対象としたアウトリーチや公募ワークショップを行った実績がある
- ◆ 有料公演可能なレパートリー作品を持っている（小作品を複数でも可）
- ◆ 公共ホール現代ダンス活性化事業のA・B・Cプログラム全てに対応できる

応募方法

下記のいずれかの方法でご応募ください。映像等の提出資料が必要です。

1. 応募フォームでの応募 ※Googleアカウントが必要になります。
2. メール又は郵送での応募

提出資料

- ① プロフィール写真
- ② 自己紹介映像（3分以内）
※③にアウトリーチ又は公募ワークショップの内容を含まない場合は、こちらで紹介してください。
- ③ 映像資料…アウトリーチ又は公募ワークショップ及び公演の内容の分かるもの。公演の映像のみの場合も可。
※映像の長さは問いませんが、再生希望箇所を各映像3分程度指定してください。
- ④ 補足資料…過去に実施したアウトリーチ又は公募ワークショップ及び公演のうち、代表的なもののチラシ、新聞等掲載記事などを1つのPDFにまとめたもの。

選考

選考会 | 2024年3月5日（火） 選考方法 | 書類及び映像選考

※応募者に選考会場へお越しいただくことはありません。

アーティストの登録

選考合格者は、登録条件などに合意いただいた後、2025・2026年度の
当事業のアーティストとして登録します。登録後、以下についてご協力、
ご参加いただくようになりますので調整をお願いします。

- 登録アーティストプロフィール（冊子）作成（2024年6月発行予定）
- アーティスト研修会
2024年5月13日（月）
会場 = 一般財団法人地域創造 会議室
- アーティストプレゼンテーション
2025年度実施団体向け：2024年7月30日（火）
2026年度実施団体向け：2025年7月下旬～8月上旬（予定）
会場 = 東京都内（予定）

スケジュール

事業実施団体は、登録アーティストのスケジュールも参考に派遣希望を
検討します。円滑な事業実施のため、スケジュールについて柔軟な対応が
できるようご調整をお願いします。

アーティスト



登録アーティスト募集!

2025・
2026年度

ダンス
活

地域の人々との協働、
ダンスを通じた創造性
豊かな地域づくりに意
欲のあるアーティスト
を募集しています。

公共ホール
現代ダンス
活性化事業

公共ホール

地域の人々

応募・お問い合わせ

一般財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業担当（児島・永田・田中）
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階
Tel. 03-5573-4077 / 4075 Fax. 03-5573-4060 E-mail. dankatsu@jafra.or.jp



▲Aプログラム：小学校でのアウトリーチの様子
(岐阜市文化センター／長与江里奈)

▲Bプログラム：車いすバスケットボールチームでのアウトリーチの様子▶
(公益財団法人堺市文化振興財団／マニシア)



下見

事業実施前に現地下見(1泊2日)を行います。各プログラムの実施に必要な会場下見や打合せのほか、地域を知り関係性を築く機会として、関係者を対象としたワークショップ(インリーチ)や地域資源のリサーチ、地域のキーパーソンとの交流等を行うこともあります。

アウトリーチ

学校、福祉施設、病院、企業や団体などへ登録アーティストが出向き、コンテンポラリーダンスを全く知らない、または関心がない層を対象に、からだを動かす楽しさ、自己表現力、創造力、コミュニケーション能力を引き出すワークショップを実施します。ホールの社会的な役割が発揮されると同時に、日ごろつながりのなかった地域の団体等とのネットワークが構築され、ホールの活動領域が拡大する契機となります。

公募ワークショップ

コンテンポラリーダンスに関心がある層を対象に、自分の表現で創作することの楽しさ等を知ってもらうワークショップを実施します。コンテンポラリーダンスの魅力からだてで理解し、新しい感覚を発見する体験等を通して、地域の鑑賞者や表現者の育成につなげます。また、地域で核となるファン層を開拓し、今後、地域でコンテンポラリーダンス事業を継続する基盤づくりを行います。

公演

コンテンポラリーダンスを地域に紹介し、これまでホールとつながりのなかった新しい鑑賞者層の掘り起こしを行います。Bプログラムでは、地域の人々と一緒に作品を創作し上演します。Cプログラムでは、登録アーティストのレパトリー作品を上演します。アーティストとホール担当者が協働して、公演内容や実施体制を組み立てます。

※ホールによっては限られた制作費・設備機材などで公演を実施することがあるため、通常の本公演と同様の条件での公演実施が困難な場合も想定されます。

ダン活とは？

〈公共ホール現代ダンス活性化事業〉

コンテンポラリーダンスのアーティストと公共ホールが共同でダンス事業を企画し実施する事業です。アーティストの柔軟な発想によりコンテンポラリーダンスの魅力を最大限に引き出し、各地域のビジョンに基づいて地域やホールの特性を活かした事業を展開します。

- コンテンポラリーダンスによる公共ホールの利活用・地域の活性化
- 当事業の実施をとおした公共ホール職員の育成
- 継続したダンス事業の実施を目指した地域の表現者等との関係構築

活動内容

3つのプログラムがあり、公共ホールが今後のダンス事業を実施するビジョンに基づいて、年度ごとに1つを選択し実施します。下記のプログラム実施前に、現地での「下見」を行います。



Aプログラム | 地域交流プログラム

- アウトリーチ(3回以上)
- 公募ワークショップ(1回以上)

原則として、4日間で学校や福祉施設等でのアウトリーチと公募ワークショップ(計4～6回)を実施

登録アーティストに帯同できる人員
アシスタント…ソロの場合のみ1名まで

Bプログラム | 市民参加作品 創作・公演プログラム

- 公募ワークショップ(1回)
- 公演(1回)

原則として、9日間(3日間+6日間など)で市民参加作品を創作し有料公演を実施

登録アーティストに帯同できる人員
クリエーションのためのアシスタント(共演者)…ソロは2名・デュオは1名まで
テクニカルスタッフ等…1名まで

▼Bプログラム：一般公募で集まった市民と創作した作品上演の様子(半田市福祉文化会館／田畑真希『ハندا大楽奏』)



Cプログラム | 公演プログラム

- 公募ワークショップ(1回)
- 公演(1回)

原則として、4日間で仕込み、リハーサル、レパトリー作品の有料公演を実施

登録アーティストに帯同できる人員
共演者…ソロは2名・デュオは1名まで
テクニカルスタッフ等…1名まで

ダン活コーディネーター(予定)
下記のコーディネーターが事業の企画から実施までアドバイザーとしてホールの担当者及びアーティストをサポートします。

- 黒田 裕子(舞台芸術プログラム企画制作者)
- 小岩秀太郎(東京鹿踊代表／縦糸横糸合同会社代表)
- 神前 沙織(NPO法人JCDN チーフ・コーディネーター／ディレクター)
- 坂田 雄平(NPO法人いわてアートサポートセンター プロデューサー)
- 中富 勝裕(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 チーフプロデューサー)
- 中西 麻友(NPO法人芸術家と子どもたち 事務局長)
- 宮久保真紀(パフォーマンスアートプロデューサー) *五十音順・敬称略



レパトリー作品を「再現」するのではなく、その土地やホールに馴染むように「再生」という視点を得た。いつしか当たり前になっている感覚を少しずつ壊してもらえて、視野の広がりに繋がっています。

——セレノグラフィカ 隅地茉歩・阿比留修一

地域にある圧倒的な魅力に出会い、その魅力に負けない自分の魅力を見つけて届ける経験ができる。創作活動の源にあるダンスの力を見直す良いターニングポイントになっています。

——中村 蓉



▲Cプログラム：レパトリー作品上演の様子(希望ホール(酒田市文化会館)／中村蓉『ジゼル』)

選考から派遣までの流れ

2024年1月24日(水) | 応募締切

3月5日(火) | 選考

3月中旬 | 結果通知

登録条件への合意後、2025・2026年度の当事業アーティストとして登録します。

5月13日(月) | アーティスト研修

登録したアーティストを対象に、事業概要の説明や留意事項等について研修を行います。

7月30日(火) | プレゼンテーション

2025年度事業実施団体の担当者に対するプレゼンテーションです。企画の参考として、ワークショップのデモンストラーションとミニパフォーマンスを行なっていただきます。

9月下旬～10月下旬 | 派遣先決定

実施団体の希望や実施団体数によって派遣件数やプログラムの種類はアーティストごとに異なります。

2025年6月頃～2026年3月頃 | 2025年度事業実施

派遣地域に滞在し、それぞれのプログラムを実施します。
*2026年度事業実施団体向けプレゼンテーションの実施時期は2025年7月下旬～8月上旬を予定しています。

公演、ワークショップ等に係る出演料等に関する詳細は、ホームページをご確認ください。*裏面にQRコードがあります。

なかなか行けない場所を訪れたり、面白い市民の方と話したり、普段は経験できないことに出会える。そうした全ての経験が血となり肉となり今の自分の踊りに生きていて感じています。

——田村一行

スケジュールの確保をお願いします。



▲Bプログラム：小中学生とのクリエーションの様子
(京都府立けいはんなホール／浅井信好『カラダとめぐる冒険日誌』) 撮影：林直